

昭栄中における全国学力・学習状況調査の概要

佐賀市立昭栄中学校
平成22年10月15日

■ 調査の趣旨 (文部科学省より)

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検討し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

■ 調査期日

平成22年4月20日 (火)

■ 調査の対象学年および対象者数

- 中学校3年生 国語： 201人、 数学： 205人

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 「国語A、算数・数学A」	主として「活用」に関する問題 「国語B、算数・数学B」
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力など

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境 生活の諸側面に関する調査	・指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

■ 調査結果について

- 今回の分析は、平成22年4月20日現在(調査実施日)での教科に関する調査および生活習慣等に関する質問紙調査について行っています。
- 質問紙調査の結果については、「佐賀市が目指す子ども像」に関連した項目(「基本的な生活習慣・学習習慣」「いじめ問題」「倫理観・社会常識」「ふるさと意識」)等を基に抜粋して分析しました。
- なお、ここでは、佐賀市立小中学校全体の結果分析および今後の方針を概括的に示したものを受けて、本校の結果を分析しています。

※ 佐賀市が目指す子ども像……「基礎学力を身につけた子ども」「倫理観・社会常識を身につけた子ども」「佐賀を誇り愛着をもつ子ども」

■ 結果の概要

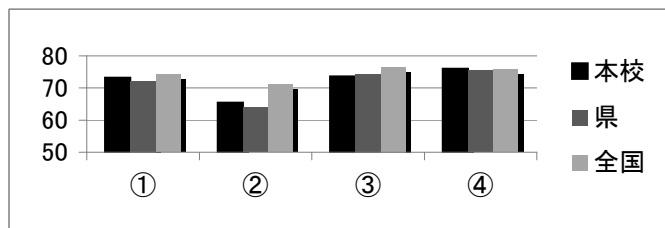
<教科に関する調査について>

○ 本校の正答率は、全国・佐賀県と比較して、国語Aはほぼ全国平均程度、国語Bはやや平均を下回っている。数学A・Bともに高いレベルにある。

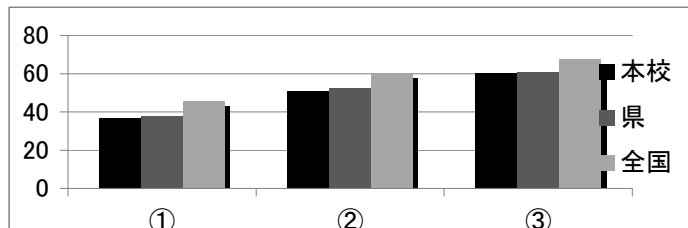
* 本校の正答率は、国語Aは全国・県平均とほぼ同じレベルにありますが、「書くこと」において全国よりも下回っています。また、国語Bにおいては県平均と同じレベルですが、全国平均よりも「話すこと・聞くこと」、「書くこと」において下回っています。

* 数学においては、数学A・Bにおいてともに高いレベルにあります。良好な結果に満足することなく、今後さらにレベルアップするよう学力向上に取り組んでいきたいと考えております。

国語A各領域別正答率

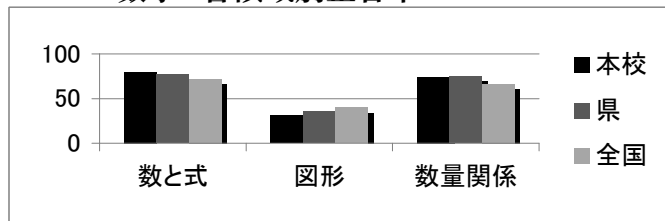


国語B各領域別正答率

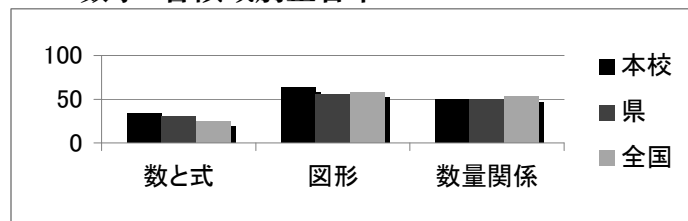


①話すこと・聞くこと ②書くこと ③読むこと ④言語事項

数学A各領域別正答率



数学B各領域別正答率



<問題A、問題Bについて>

○ 「数学」においては「問題A、問題B」は全国・県と比べて高い。しかし、「国語A」は全国と同じレベル。「国語B」は県平均は上回っているものの、全国平均よりも下回る結果となっている。

* 国語Aでは「言語事項」においては全国平均を上回るレベルにあり、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」は全国、県平均とほぼ同じレベルにあります。「書くこと」において全国平均よりも下回っています。国語Bではすべてにおいて全国平均を下回っています。

* 数学Aでは「数と式」、「数量関係」に関する正答率が高く、「図形」においては若干全国平均を下回っている。数学Bでは「数と式」、「図形」において全国平均よりも高く、数量関係においては全国・県平均とほぼ同じレベルとなっています。

* 国語においては、基本的な内容はおおむね達成できているが、活用する能力（応用力）が身につけていないようである。「話すこと・聞くこと」においては、スピーチや発表の機会を増やし、指導していきたいと考えています。「書くこと」においては、国語辞典の活用や朝読書を継続指導していき、思ったことを自分の言葉で表現できるよう指導していきたいと思います。ご家庭でもニュースや新聞等の記事を話題にしてみてください。

* 数学においては、基礎的な知識・理解がおおむね良好な結果となったのは、落ち着いた学校生活を送れていることが、大きな要因だと考える。まじめな授業への取り組みができているためである。特にチームティーチングや少人数指導などのきめ細かな指導を実施してきた成果だと考えられる。

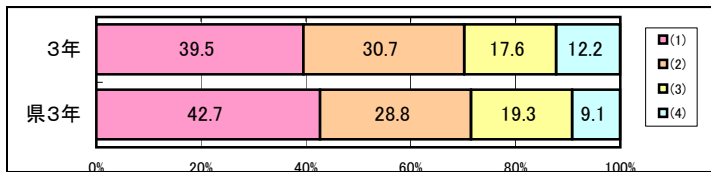
<生活習慣や学習環境に関する質問紙調査について>

○ 生活習慣や学習環境に関する内容を「本人に関すること」、「学校に関すること」、「家庭に関すること」、「地域に関すること」に分類し、県と比較してみると本校の方が意識が高い項目も見られた。

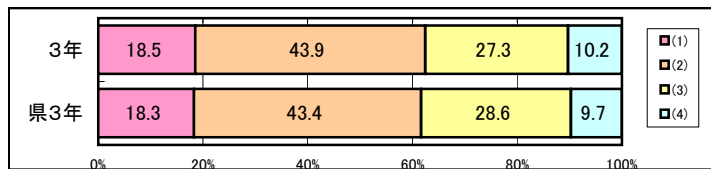
- * 「本人に関すること」において、現3年生については自己肯定感や思いやりの意識が高い。これらの良さを今後の学習指導や進路指導に生かす。
- * 「学校に関すること」においては全国・佐賀県平均と大差ないが、過去に比べて低くなっている。学年や学級等において集団作りや規範意識の高揚を図る。
- * 「地域に関すること」については、あいさつや行事参加において全国平均を下回っている。地域の行事等への参加を促しながら改善を図りたい。

「本人に関すること」

将来の夢や目標をもっている	3年	県3年
(1)当てはまる	39.5	42.7
(2)どちらかといえば、当てはまる	30.7	28.8
(3)どちらかといえば、当てはまらない	17.6	19.3
(4)当てはまらない	12.2	9.1

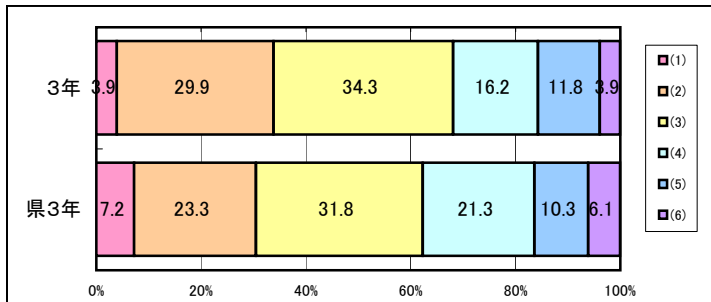


自分には、よいところがあると思う	3年	県3年
(1)当てはまる	18.5	18.3
(2)どちらかといえば、当てはまる	43.9	43.4
(3)どちらかといえば、当てはまらない	27.3	28.6
(4)当てはまらない	10.2	9.7



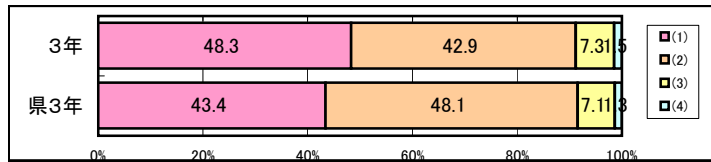
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

	3年	県3年
(1)3時間以上	3.9	7.2
(2)2時間以上、3時間より少ない	29.9	23.3
(3)1時間以上、2時間より少ない	34.3	31.8
(4)30分以上、1時間より少ない	16.2	21.3
(5)30分より少ない	11.8	10.3
(6)全くしない	3.9	6.1



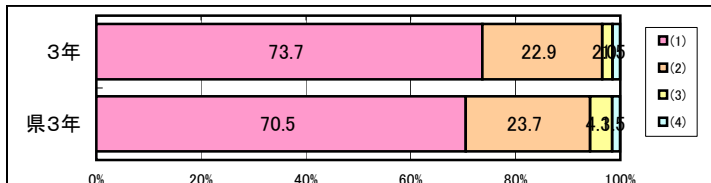
「学校に関すること」

学校の規則を守っている	3年	県3年
(1)当てはまる	48.3	43.4
(2)どちらかといえば、当てはまる	42.9	48.1
(3)どちらかといえば、当てはまらない	7.3	7.1
(4)全く当てはまらない	1.5	1.3



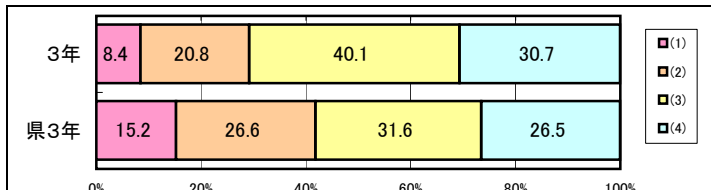
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

	3年	県3年
(1)当てはまる	73.7	70.5
(2)どちらかといえば、当てはまる	22.9	23.7
(3)どちらかといえば、当てはまらない	2.0	4.3
(4)全く当てはまらない	1.5	1.5



「地域に関すること」

地域の行事に参加している	3年	県3年
(1)当てはまる	8.4	15.2
(2)どちらかといえば、当てはまる	20.8	26.6
(3)どちらかといえば、当てはまらない	40.1	31.6
(4)当てはまらない	30.7	26.5



近所の人に出会ったときは、あいさつをしている

	3年	県3年
(1)当てはまる	49.8	58.6
(2)どちらかといえば、当てはまる	35.6	31.3
(3)どちらかといえば、当てはまらない	11.7	8.1
(4)全く当てはまらない	2.9	2.0

